

第5回デジタルリテラシーの育成に 関するタスクフォース

2025年7月4日

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課

独立行政法人 情報処理推進機構

第4回の振り返り

第4回の振り返り（1/2）

対象者像検討の意見まとめ

- 対象者像が大きく見直された場合、現行のITパスポート試験との継続性を考慮する必要がある。試験名称に関する議論があるとよい。
- 共通的な基礎知識と併せて、基本的なマインド・スタンスを備えていることを前面に出してもよいのでは。
- 全てのビジネスパーソンを対象にしながら、担当業務に即した内容に限定されていることに違和感がある。ビジネスパーソンという表現が、ホワイトカラーに限定されるようなイメージがあるので、表現は検討したほうがよい。
- 期待する技術水準に含まれる「セキュリティ・モラル・コンプライアンス」観点が、対象者像に含まれているとよい。

第4回の振り返り（2/2）

スキル標準検討の意見まとめ

- 新しい価値創造をする人材なのか、デジタル技術を活用する人材なのか、ITパスポート試験がどこを目指すためのものなのか、解像度を高めた方がよい。
- DXリテラシー標準（DSS-L）の「Why」「What」「How」の順番に対応するように、期待する技術水準も構成されているとよい。
- ITパスポート試験を、広くあまねくすべての人に受けてもらうようなエントリーレベルの試験にするのか。それとも、DX推進を見据えて、ある程度のデジタルスキルを身につけているレベルの試験にするのか決めなければならない。

分野別評価について

分野別評価

(試験要綱抜粋)

- 出題数100 問のうち、総合評価は92 問で行い、残りの8 問は今後出題する問題を評価するために使われる。また、**分野別評価の問題数は、ストラテジ系32 問、マネジメント系18 問、テクノロジー系42 問**とする。
- 試験区分ごとの合格基準は、次のとおりとする。

IT パスポート試験では、**総合評価点及び各分野別評価点（ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系の三つの分野別評価点）がそれぞれ基準点以上の場合に合格とする。**

〔各試験区分の配点及び基準点〕

試験区分	科目	配点	基準点
ITパスポート試験	—	1,000点満点	総合評価点：600点／1,000点満点 分野別評価点：ストラテジ系 300 点／1,000 点満点 マネジメント系 300 点／1,000 点満点 テクノロジー系 300 点／1,000 点満点
情報セキュリティマネジメント試験	科目 A・B	1,000点満点	総合評価点：600点／1,000点満点
基本情報技術者試験	科目A	1,000点満点	科目評価点：600点／1,000点満点
	科目B	1,000点満点	科目評価点：600点／1,000点満点

ディスカッション



● 評価の活用について

- ・（企業目線/受講者目線で）分野別評価を参考にすることはありますか？
ある場合、こういった場面で活用していますか？
- ・（企業目線/受講者目線で）合否の他に、総合評価点を参考にすることはありますか？
ある場合、こういった場面で活用していますか？

● 3分野の設定について

- ・分野の名称がわかりにくいとの声はありますか？
- ・“ストラテジ”“マネジメント”を統合し“ビジネス”とするのも一案と考えますが、ご意見を伺いたい。
- ・その他、分野についてご意見があれば伺いたい。

ITパスポート試験のサービス向上

試験結果レポート

- 個人向けには、分野別評価点を記載した試験結果レポートを即日提供。
- 団体向けには、カテゴリ別の団体正答率、全国平均正答率を記載したレポートを提供。（個人ごとの評価点、分野別評価点等はCSVデータを提供。）

試験結果レポート（個人向け）


ITパスポート試験
試験結果レポート

受験日	2018年07月01日
受験番号	IP18999999
受験者名	試験 太郎

評価点		
総合評価点	700点	
分野別評価点	ストラテジ系	610点
	マネジメント系	800点
	テクノロジー系	705点

合格基準		
総合評価点	600点 以上 / 1,000点	
分野別評価点	ストラテジ系	300点 以上 / 1,000点
	マネジメント系	300点 以上 / 1,000点
	テクノロジー系	300点 以上 / 1,000点

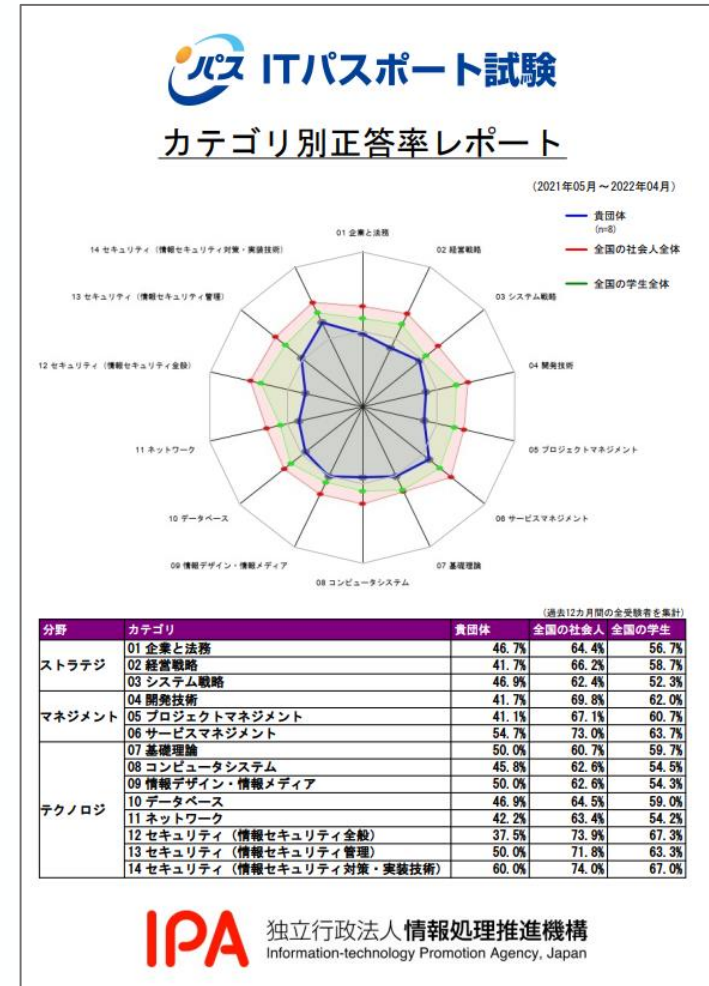
＜合格について＞

合格は、経済産業大臣が判定します。合格者の受験番号は官報に掲載されるほか、ITパスポート試験ホームページにも掲載します。

合格者には、経済産業大臣から合格証書が交付されます。

独立行政法人情報処理推進機構

カテゴリ別正答率レポート（団体向け）



ディスカッション

●団体向け“正答率レポート”について

- ・活用している場合、どのような場面で活用していますか？
活用していない場合、その理由は何ですか？
- ・“カテゴリ別”という粒度でのレポートは有用だと感じますか？

●試験結果のフィードバックについて

- ・企業向け/個人向けに、他にどんなフィードバックがあると良いと思いますか？（受験推奨しやすくなる/受験意欲に繋がるとおもいますか？）

[例：業種別平均、地域平均、合格者平均、年齢平均との比較、個人向けにもカテゴリ別の評価点や各平均との比較を掲載する等]



ディスカッション

● 継続的学習への仕掛け

- ・ 合格者が次の学びに繋がるような、継続的学習への仕掛けとして、どのようなレコメンドがあると効果的だと思いますか？

[例：ネクストステップとしておすすめの試験案内、成績が良くなかったカテゴリの復習におすすめの講座案内等]

